



発行:自治労連千葉県本部 千葉市中央区長洲1-10-8 自治体福祉センター内 TEL 043-227-9393 FAX 043-227-6060 mail union@jichirorenchiba.jp URL http://www.jichirorenchiba.jp/ 責任者・竹内 敏昭 編集長・實川 理

船橋市職労

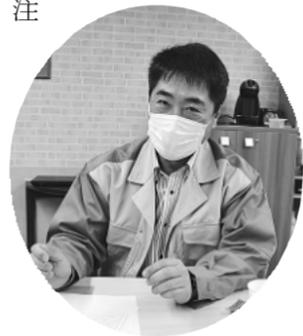
清掃 住民の衛生環境の維持・向上のため

責任果たさせる体制を



散乱したマスクなどのごみを片付ける職員

新型コロナウイルス感染症対策のため、外出の自粛が長期化しています。この状況で、清掃職員の社会的役割が再評価されるようになってきました。今回は清掃職場の様子について船橋市職労の青木委員長と榎(さかき)書記次長に話を聞きました。



榎(さかき)さん

◆榎書記次長 ◆ごみ収集は血液と同じ

◆ごみ収集業務は、地域を身体に例えると、身体中をめぐる血液と同じです。老廃物を運び出す大事な役割を果たしているため、止められません。

◆みなに優しいごみの出し方

◆直営職員が緊急時対応の軸に

◆ごみ収集業務は、地域を身体に例えると、身体中をめぐる血液と同じです。老廃物を運び出す大事な役割を果たしているため、止められません。

夏季闘争 コロナに継続対応できる職場に 実川書記長談話 要旨

20春闘は、100年に一度とも言われる世界的な感染症の拡大が続くなかでのとりくみとなりました。

●第一に、職場の要求運動です。

①新型コロナを中心とした「職場要求アンケート」等にとりくみ、生の声を掴み必要な改善を求めます。

②職場アンケート結果も含め、夏季要求の提出と交渉を進めます。

③人員増のとりにくみを重視し、災害対応や新型コロナ対応などの状況を踏まえ人員確保を求めます。

ごみ収集職員へ

住民から感謝の声届く



↑船橋市本庁舎ロビーに貼りだされたメッセージ

いつも回収していただきありがとうございます。皆様のご尽力が社会を支えてくださっています。皆様のご健康をお祈りし、いっしょに感謝を申し上げます。

↑野田市で住民から寄せられたメッセージ

一般廃棄物処理の処理責任を果たすためには、現実的な収集体制をつくる必要があります。その軸になるのは直営の職員です。

2年目に入った「ふれあい収集」では、直営職員が週1回ごみ出し困難者のお宅を訪問し希望者に「声かけ」

(現在は一時中止)しながら粗大ごみ以外のごみを収集していただきます。

組合員が長年の交渉を積み重ねた結果が現在の賃金水準であり、「労働組合は必要だ」と考える人がいるから労働条件の悪化が止められているのです。

是非、それぞれのできる方法で組合活動に参加してほしいです。

賃金労働条件は当たり前ではない

新型コロナで、以前は「当たり前」だと思っていたことはそうではないです。

◆青木委員長 ◆組合はがんばりどころ

横断歩道

◆新型コロナの緊急事態宣言が5月末まで延長され毎日ニュースはコロナがほとんど。自粛要請に従わない店舗や国民への批判が多く報道される。中には、『自粛警察』と言われる過剰な反応も報道されている。「黙って家にいろ」との主張

しかし、全国民が自宅で運動が可能なか。営業しなければ生活できない人も多いのでは?意味もなく外出したりすることは避けるべきだが、果たして全国民が耐えられる状態なのか。人それぞれ置かれた状況は違う。

一面的ではなく、他者の状況に思いをはせる想像力が必要だろう。憲法記念日に安倍首相は、コロナ対策を引き合いに出し、自粛要請では不十分として、強制力のある緊急事態条項を憲法に書き込むことなど改憲議論を加速させることに意欲を示した。自粛で困った国民のくらしを守るためには、支援金の迅速な支給が必要で、実際に外国では行われている。不正受給が起らない様にと国民を信用しない政権に問題があるのではないか。

(A・K)